

# 遮蔽車両の選定について

○車両の選定(遮蔽車両A:前側)

- 販売台数が多い車両の中から選定する
- 大人ダミーが概ね隠れる全高を有すること

2015年の販売台数トップはアクアであったが、全高や販売上位10車種中6車種が軽自動車であることを勘案し、軽自動車のうち最も販売台数が多かった”N-BOX”とする。

○車体色の選定

- 日本における販売比率をもとに選定する

表2 日本における車体色の販売比率

	車体色	割合
1	白	26%
2	黒	20%
3	シルバー	19%
4	青	9%
5	グレー	9%

2011 Du Pont

表1 2015年の販売台数と車両寸法

	車名	販売台数	全高[mm]	全幅[mm]	種別
1	アクア	215,525	1455	1695	小型
2	N-BOX	184,920	1780	1475	軽
3	タント	157,756	1750	1475	軽
4	デイズ	150,696	1620	1475	軽
5	プリウス	127,403	1470	1760	普通
6	ムーヴ	120,835	1630	1475	軽
7	フィット	119,846	1525	1695	小型
8	アルト	109,355	1500	1475	軽
9	カローラ	109,027	1460	1695	小型
10	ワゴンR	108,107	1640	1475	軽

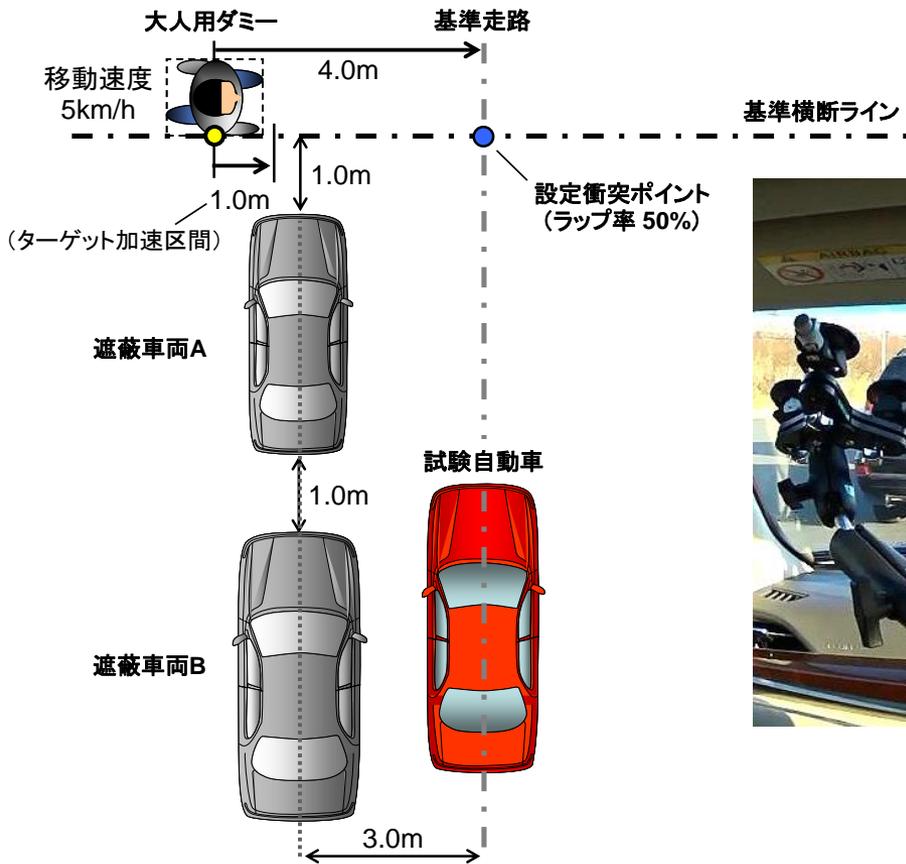
2015 日本自動車販売協会連合会, 全国軽自動車協会連合会



日本における車体色の販売比率から、車体色は”白”とする

## ○車両の選定(遮蔽車両B:後側)

後方の遮蔽車両Bを設置する目的は、横断前(待機時)のダミーが試験車両から見えてしまうのを防ぐこと。従って、特定の車種に絞り込む必要性は低いが、大型SUVまたは1BOX車が望ましく、試験時にはハイエースバンを使用する予定。車体色は販売比率を考慮して、“黒”とする(下記は大型SUVでの参考イメージ)



遮蔽シナリオ試験時のイメージ  
(車両A:N-BOX、車両B:ランドクルーザープラド)

遮蔽シナリオの試験環境